

主催
みやぎボイス連絡協議会

公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会
一般社団法人みやぎ連携復興センター
宮城県災害復興支援士業連絡会
一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

後援

国土交通省東北地方整備局
厚生労働省東北厚生局
経済産業省東北経済産業局
復興庁宮城復興局

宮城県
仙台市
石巻市
気仙沼市
名取市
岩沼市
東松島市
山元町
七ヶ浜町
女川町
宮城県商工会議所連合会
仙台商工会議所
みやぎ復興住宅整備推進会議
(一社) 日本建築学会東北支部
(一社) 宮城県建築士会
(一社) 宮城県建築士事務所協会
(一財) 宮城県建築住宅センター
(一社) 日本建設業連合会東北支部
独立行政法人都市再生機構
国立研究開発法人建築研究所
独立行政法人住宅金融支援機構東北支店
仙台弁護士会
(公社) 日本建築士会連合会
(一社) プレハブ建築協会
(公社) 土木学会東北支部
(公社) 日本測量協会東北支部
(公社) 日本技術士会東北本部宮城県支部
(公社) 都市住宅学会東北支部
(公社) 日本都市計画学会東北支部
東北大学
東北大学災害科学国際研究所
東北大学経済学研究所・震災復興研究センター
宮城教育大学
東北学院大学
東北学院大学災害ボランティアステーション
宮城大学
東北工業大学
尚学院大学
宮城学院女子大学

朝日新聞仙台総局
毎日新聞仙台支局
産経新聞東北総局
読売新聞東北総局
日本経済新聞社仙台支局
NHK 仙台放送
TDC 東北放送
河北新報社
仙台放送
KHO 東日本放送
みやぎテレビ
建設新聞
七十七銀行
S-style
新建築
建築ジャーナル
仙台経済界



開催日時
2022年7月2日 [土]
11:00 - 18:30

開催場所
せんだいメディアテーク1F
オープンスクエア+ZOOM会議室

※一般の方はオンライン会議システム「ZOOM」によりご参加いただけます(参加費無料)。

※後日専用の申込フォームにて必要事項をご登録いただいた方に、オンライン会議参加用の情報をお送りいたします。申込みフォームはこちら↓

<https://www.jia-tohoku.org/archives/3494>

※せんだいメディアテーク内の現地会場ではご参加頂けませんのでご注意ください。

テーブルA
空間と
コミュニティ形成

テーブルB
災害が日常になった今
→レジリエンスを考える

テーブルC
復興支援員制度を
振り返り未来へ繋げる

テーブルD
復興検証

みやぎボイスはラウンドテーブル形式で東日本大震災の復興に関する様々なテーマを論じ合う場です。復興に取り組み見守ってきた地域住民、行政、支援者、事業者、専門家が一堂に集い意見交換を展開します。

今年も会場と遠方の登壇者をオンラインで繋ぎ、現地&リモートでの開催を試みます。

テーブルF
災害復興における
「地域」と「当事者」の
範囲を考える

テーブルE
被災者の住まいの再建と復興事業
～居住選択の自由と災害危険区域～

※テーマは変更する場合があります

東日本大震災復興シンポジウム

みやぎ ボイス 2022

申し込みフォームへは
こちら↓からもお入り頂けます



～ 災害が日常になった今 ～

JIACPD 7 単位(延べ)

※申請中

問い合わせ先

(公社) 日本建築家協会 (JIA) 東北支部宮城地域会

仙台市青葉区一番町4-4-1 オークツリー一番町4F

電話: 022-225-1120

e-mail: miyagi@jia-tohoku.org

みやぎボイス2022を開催します。7月2日、土曜日、会場はせんだいメディアテークです。
ラウンドテーブルでの直接参加と遠隔リモート参加の双方向型ディスカッションを行います。

みやぎボイスは、2011年東日本大震災の翌年に開かれた日本建築家協会東北支部の震災復興シンポジウムを契機に、2013年「地域とずっと一緒に考える復興まちづくり」から2021年「東日本大震災から10+1年目を迎えて、私たちは何を語ることができるのか」まで、復興まちづくりのその折々の切り口と課題をテーマに、被災地と行政関係者から復興に関わる様々な立場が一同に会し、ぶつけ合った生の声を共有して、参加者と読者がそれぞれ日々の現場で復興まちづくりの力としてきました。
今、みやぎボイスは東日本大震災からの復興まちづくりの代表的プラットフォームとの評価を受けています。

今回、みやぎボイスは10回目です。日本列島では絶えず自然災害が発生、一方で日本の風土と文化を造ってきました。近年は地震活動とともに地球温暖化の影響と言われる風水害が激化、更に人為的要因が重なり合って複合災害となっています。いづどこでも災害が起こる危険があります。

10回目となるみやぎボイス2022のテーマは「災害が日常になった今」です。

東日本大震災からの復興まちづくりを共有してきたみやぎボイスのプラットフォームを活かして、記録と検証の視点を持ちながら、災害とは、地域とは、復興とは、まちづくりとは、そしてその主体とは、を考え、まちづくりと人づくりに活かして行く場にします。

個々のテーブルでは、引き続きみやぎボイスの目的の一つである“復興検証”、みやぎボイスで注視してきた石巻市半島部の“雄勝”、震災復興で漠然とした期待をいただいていた『コミュニティ形成と空間の力』の検証、復興まちづくりの現場に飛び込み協働している“復興支援員”、さまざまな士業団体の視点から見た復興まちづくりの“人・建築・法制度”などについて意見交換を繰り広げます。

シンポジウム後は、報告書として国・県・自治体、教育研究機関、図書館に寄贈するとともに広く社会に発信し、東日本大震災からの復興まちづくりのアーカイブとします。

最後になりますが、これまでの関係各位のみやぎボイスの運営へのご協力・ご支援に感謝します。
引き続きみやぎボイス2022への参画とご支援をお願いいたします。

みやぎボイス連絡協議会 代表 渡邊 宏

プログラム

(プログラムは予定です。時間、構成は変更することがあります。)

JIACPD 7単位(延べ)

※申請中

■開催場所

せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア + ZOOM会議室

※一般の方はオンライン会議システム「ZOOM」によりご参加いただけます(参加費無料)。
※後日専用の申込フォームにて必要事項をご登録いただいた方に、オンライン会議参加用の情報をお送りいたします。

申込みフォームはこちら→ <https://www.jia-tohoku.org/archives/3494>

※メディアテーク内の現地会場ではご参加頂けませんのでご注意ください。

■開催日時

2022年7月2日[土] 11:00 - 18:30

■プログラム予定

11:00 開会・趣旨説明

11:15 **オープニングトーク「6つのテーブル議論の方向性」**
※JIACPD 1単位

12:15 ラウンドテーブル 前半 スタート
※JIACPD 3単位

テーブルA
空間と
コミュニティ形成

テーブルB
災害が日常になった今
→レジリエンスを考える

テーブルC
復興支援員制度を
振り返り未来へ繋げる

15:00 ラウンドテーブル前半総括

15:15 休憩

15:30 ラウンドテーブル 後半 スタート
※JIACPD 3単位

テーブルD
復興検証

テーブルE
被災者の住まいの再建と復興事業
～居住選択の自由と災害危険区域～

テーブルF
災害復興における
「地域」と「当事者」の
範囲を考える

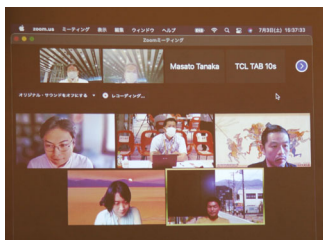
18:15 ラウンドテーブル後半総括

18:30 閉会挨拶

みやぎボイス2022は(公財)窓研究所文化活動助成、(一社)東北地域づくり協会
みちのく国づくり支援事業の支援を受け実施いたします。

■問い合わせ先

(公社)日本建築家協会 (JIA) 東北支部宮城地域会
仙台市青葉区一番町4-1-1 オークツリー一番町4F
電話: 022-225-1120
e-mail: miyagi@jia-tohoku.org



みやぎボイス2022 登壇予定者

2022年6月時点での所属、肩書を掲載しています。

田中 正人	追手門学院大学
吉野 英岐	岩手県立大学
西田 奈保子	福島大学
辻 岳史	国立環境研究所 福島地域協働研究拠点
前田 昌弘	京都大学大学院
菊池 雅彦	国土交通省都市局市街地整備課
佐藤 翔輔	東北大学災害科学国際研究所
後藤 大輝	NPO法人アスノキボウ
徳水 博志	一般社団法人 雄勝花物語
三井 紀代子	貴療行株式会社
大和 千恵	雄勝 J O C C O サークル
稲垣 文彦	NPO法人ふさと回帰支援センター
加藤 拓馬	一般社団法人まるオフィス
佐藤 尚美	一般社団法人ウィアーアーン北上
木村 正樹	一般社団法人東松島ひとまちネット
市古 太郎	東京都立大学
越山 健治	関西大学
井若 和久	徳島大学 人と地域共創センター
井内 加奈子	東北大学
永松 伸吾	関西大学
岡村 健太郎	近畿大学
河村 和徳	東北大学
田中 礼治	一般社団法人日本建築学会東北支部
室崎 益輝	神戸大学名誉教授
阿部 晃成	宮城大学
高橋 清秋	宮城県災害復興支援士業連絡会
三浦 友幸	一般社団法人プロジェクトアス
西城 幸江	元NPO法人スタッフ (赤門鍼灸柔整専門学校2年)
山根 辰洋	一般社団法人双葉郡地域観光研究協会
小松 理虔	ヘキレキ舎
澤田 雅浩	兵庫県立大学大学院
田口 太郎	徳島大学

(順不同・敬称略)